

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (みなと医療生活協同組合)

事業所名 (介護老人保健施設 あつたの森)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
装着型介護ロボット (移乗・排泄・入浴)		HAL®介護支援用 (腰タイプ)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 29 年 2 月 9 日	1	平成 29 年 2 月 9 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>①導入後、2名のスタッフで使用開始</p> <p>②2/17に「体験会」を開催。20名の職員が参加し、ロボットの動作原理を説明し、実際に装着体験を行った。</p> <p>②2/23、3名対象に安全使用講習会を開催した。現在は毎日交代で5名がロボットを使用。車椅子、ベッド間の移乗介助や入浴・排泄・更衣等の介助時に使用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①使用する業務 車椅子、ベッド間の移乗介助や入浴・排泄・更衣等の介助時</p> <p>②使用頻度 交代で毎日</p> <p>③効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中腰の姿勢に対しては腰の負担が軽減されていると感じる。 ・トイレやオムツ交換時等、前傾姿勢となる際にも効果を感じる。 ・ロボットを装着している事で「これは何?」という質問などがあり、ご利用者様やご家族との会話がはずむ。 ・職員の福利厚生 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (みなと医療生活協同組合)

事業所名 (介護付有料老人ホーム 虹の郷)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
装着型介護ロボット (移乗・排泄・入浴)		HAL@介護支援用 (腰タイプ)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
2017年 2月	1台	2017年 2月 21日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<p>介護ロボット納入。介護ロボット管理者研修 2名受講 以降、順次、使用者講習会開催 介護ロボット1台であるため、オープンな位置に保管場所を決め、気軽に随時装着できるようにしている。</p>				
【介護ロボットの導入効果】				
<p>① 職員の処遇改善、モチベーションの向上 まだ短期間ではあるが実際ロボットを装着し、職員より体重の重い重介護者の移乗、トイレ介助を行い、前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、かなり腰部に係る負担が軽減されることを実感している。職員からは業務後、ロボットを外すと今まで自分の体が支えられていたことがわかるほど、体が重く感じ、改めて効果を実感したという感想が出ている。腰部負担の軽減により、業務に対するモチベーション向上が期待される。</p> <p>② 利用者の満足向上 介護ロボットを装着し負担軽減された介護者が、トイレ介助や移乗介助をおこなうことで利用者からは「安心できる」との声も聞かれている。</p> <p>③リクルート効果 2017/3/5 新聞社主催の就活フェアに出展時、当施設では職員の腰痛予防の対策として介護ロボット使用することを紹介。介護ロボットを活用し職員の福利厚生を重視する施設としてアピールすることができた。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。